


(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">2023年 6月23日</p>	
<p>都道府県知事 (市長) 埼玉県知事 殿</p>	
	<p>提出者</p> <p>住所 埼玉県飯能市新光20番地</p> <p>氏名 (株)椿本鋳工 代表取締役 柏崎充幸</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 042-973-8031</p>
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	(株)椿本鋳工
事業場の所在地	埼玉県飯能市新光20番地
計画期間	202 2 ³ 年4月1日～202 3 ⁴ 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鋳鉄鋳物の製造販売
②事業の規模	14億
③従業員数	75名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 鋳物製造 工程 </div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 鋳物砂 鋳さい 金属屑 廃ブラ </div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 業者へ 処理処分 委託 </div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="text-align: center;"> セメント原料 リサイクル </div> </div> <p>その他の産業廃棄物処理は別紙の通り</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
統括責任者		代表取締役 柏崎 充幸	
管理責任者		製造部部长 [REDACTED]	
役割	環境会議	①廃棄物処理に関する諸事項検討②削減計画の実施フォロー、改善計画の審議他	
	統括責任者	① 管理責任者の任命②廃棄物処理に関する各種事項の承認 ③環境方針の従業員への周知徹底	
	管理責任者	①廃棄物処理計画の作成②廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ③処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理④委託契約の締結⑤監督官庁への各種報告⑥教育訓練計画の作成と実施	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉱さい	金属屑、廃プラ
	排出量	1,611 t	146 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ① 砂こぼれ対策（サークル改善活動による） ② 製品不良率の低減を図る（不良率上位10品種の改善活動） ③ ごみの分別の徹底 			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉱さい	金属屑、廃プラ
	排出量	1,756 t	159 t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ① 砂こぼれ対策の継続 ② ごみ分別の徹底の継続 ③ 産業廃棄物排出量 160 t/月 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ② 廃砂と燃え殻・ノコの確実分別 ③ ごみの確実分別		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ② 廃砂と燃え殻・ノコの確実分別の継続 ③ ごみの確実な分別の継続		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（ 2022年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	鋳さい	鋳さい	廃プラ
	全処理委託量	1,611 t	146 t	4.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t		t
	再生利用業者への処理委託量	1,611 t	146 t	4.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		t
	(これまでに実施した取組) ①委託業者の調査・訪問 ②法案歩留まり改善 ③工程改善による生産性向上 ④ 検査不良率の低減 その他の産業廃棄物種類と処理委託量は別紙の通り			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	鉦さい	鉦さい	廃プラ
	全処理委託量	1,756 t	159 t	5t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	1,756 t	159 t	5t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
	(今後実施する予定の取組) ①委託業者の調査、訪問の継続 ②工程内の砂こぼれの改善 (設備の修理や改善活動による)			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。